

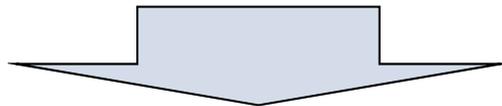
NTT持株によるNTTドコモ完全子会社化に対する 公正な競争環境の整備に関する要望 〈追加提出意見〉

令和3年1月28日

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟

補足①：NTT東・西とNTTドコモによるネットワークの一体的な構築

- ✓ NTTドコモの完全子会社化により、NTT東・西とNTTドコモのネットワークの一体的な構築、一体化が進むと考えています。
- ✓ 具体的には、
 - **NTT東・西のローカル5Gとドコモの全国5Gの一体的な構築や設備の共用**
(鉄塔や局舎等に設置する5Gの送受信装置、コア設備、エッジコンピュータなど。特に、ローカル5GのSub6の帯域(4.6-4.9GHz)は、ドコモの全国5Gの帯域(4.5-4.6GHz)と隣接しており、ドコモの5G設備のソフトウェアをアップデートするなどにより、ローカル5Gの帯域に対応させることも技術的には可能と考える。)
 - **NTT東・西のローカル5GやNTTドコモの全国5Gに関する設備情報の共有**
など、**NTT東・西とNTTドコモによる「5Gネットワークの一体的な構築」を懸念**しております。
- ✓ これにより、**NTT東・西が競争事業者よりも優位にローカル5Gのネットワークを構築できる**ようになることや、**NTT東・西とドコモが一体的に5Gサービスを提供**することなどを懸念しております。
- ✓ これらは、**6G時代など、将来に起こることではなく、今すぐにでも起こり得る**ことです。

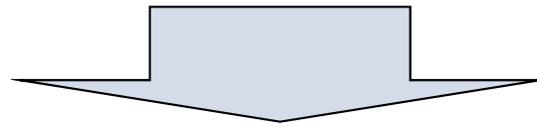


このため、以下を要望いたします。

- ✓ **NTT東・西とNTTドコモによるネットワークの一体的な構築の禁止**や、
(禁止行為規制の「特定事業者に対する不当に優先的・不利な取扱い(2号行為)」に該当することの明確化)
- ✓ **NTT東・西によるローカル5Gの無線局免許の扱いを見直す**こと
(ローカル5Gの無線局免許の対象外とする等)

補足②：地域における競争環境の監視強化

- ✓ ケーブルテレビは、**固定通信**から**無線通信**、**消費者市場**から**法人市場（BtoB/G）**まであらゆるサービスを提供しており、**地域でNTTグループと競争関係**にあります。
- ✓ **NTT東・西とNTTドコモ**は、地域通信市場、移動通信市場の双方で、**大きな市場支配力**を有しており、地域でビジネスを行っている**ケーブルテレビ**にとって非常に大きな**競争相手**です。
- ✓ 競争が激化している**移動通信**だけでなく、**固定通信**についても、また、**消費者市場**だけでなく、**法人市場**においても**地域における公正競争を確保**することが必要です。



このため、

- ✓ 利益相反取引等により、事業規模に大きな差がある地域のケーブルテレビ等が排除されないよう、**地域における競争環境の監視を強化**することを要望いたします。
- ✓ 具体的には、電気通信市場検証会議などの場において、以下を行うことを要望します。
 - ・法人向けサービスを地域毎（※）に検証を行うなど、法人向けサービスの検証を強化すること
 - ・ローカル5Gについて、NTT東・西、NTTドコモ、NTTコミュニケーションズなどNTTグループ連携による地域における影響を検証を行うこと

※検証を行う「地域」については、東北や関東などのブロック単位ではなく、**県や市町村を中心とした生活圏などの単位**で、きめ細かく行うことが必要と考えています。

補足③：地域におけるNTTグループとの競争事例

- ✓ 自治体による情報通信ネットワークの調達案件について、サービス提供に不可欠となるダークファイバ及び関連するコロケーション費用の総額よりもさらに低い金額でNTT西日本が落札し、競争事業者が排除される事例が発生。
- ✓ NTT西日本に支払う金額よりも更に低い金額でNTT西日本に入札されると、**地域の中小通信事業者は逆立ちしても勝負することは不可能。**
- ✓ NTTグループは、ダークファイバなどの不可欠設備を持ち、営業や技術に関して圧倒的な組織力を持つため、**地域において、ケーブルテレビ等の競争事業者が対等に競争できる競争環境を作ることが重要**であり、そのための対策を検討いただきたい。

